

令和5年度

学校評価報告書

岩見沢市立岩見沢小学校

令和5年度 岩見沢市立岩見沢小学校 学校評価報告書

校 名	岩見沢市立岩見沢小学校							
学校長	松 本 伸 彦						教職員数	29
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
学級数	1	2	2	2	1	2	5	16
児童数	33	37	40	38	35	39	15	237
住 所	岩見沢市2条東6丁目2番地							
電 話	0126-22-0256							
FAX	0126-22-2590							
URL	ナシ							
E-mail	iwamisv@mc.city.iwamizawa.hokkaido.jp							

I 学校教育目標

◇めざす児童像

- ◎ 落ち着いて考える子ども ～ 「自分の考えをわかりやすく伝える子ども」
- ◎ 思いやりのある子ども ～ 「人の気持ちを考える子ども」
- ◎ 元気で明るい子ども ～ 「進んであいさつができる子ども」

II 中期及び単年度の具体的目標

◇経営の基本基調

「つなぐ教育・つながる教育」
～学校への期待を実現する満足度100%の学校づくり～

◇経営の重点

- (1) 学校運営の充実
- (2) 教育課程の編成・実施等
- (3) 専門性の向上を図る研修活動の充実
- (4) 安全・安心な学習環境の充実
- (5) 働きやすい職場環境の醸成
- (6) 学校事務の充実
- (7) 家庭・地域・関係機関等との連携

III 各種具体的な計画

◇今年度の具体的な取組

- (1) 学校運営の充実
 - 校務運営組織の工夫による組織力の強化
 - 学習支援員等を含む全教職員の学校運営への参画意識の一層の向上
 - 学校評価の工夫と評価結果を踏まえた改善方策の明確化
- (2) 教育課程の編成・実施等
 - 学習指導要領に基づく教育課程の編成、実施、評価、改善
 - 地域の教育資源の活用を位置付けた教科等の年間指導計画の見直し
 - 教育活動の質の向上に資するカリキュラム・マネジメントの充実
- (3) 専門性の向上を図る研修活動の充実
 - 外部講師を活用した課題研究及び今日的な課題に対応した実践研修の推進

- 道立教育研究所・道立特別支援教育センター・空知教育センター等の研究講座、研究団体の研究大会、各校の公開研究会等への計画的な参加と校内への還元
- 服務規律の確立や法令遵守の徹底によるコンプライアンス意識の一層の向上
- (4) 安全・安心な学習環境の充実
 - 教職員の危機管理意識に基づく危機管理体制の整備と迅速な対応の徹底
 - 定期的な安全点検による危険箇所等の確認及び修繕
 - 防災教育や防犯教育に係る関係機関等との連携
- (5) 働きやすい職場環境の醸成
 - 会議等の時間の短縮による子どもと向き合うための時間の確保
 - 校務支援システムの活用による業務の効率化
 - 「岩見沢市アクションプラン」等を踏まえた働き方改革の推進
- (6) 学校事務の充実
 - 学校の課題を踏まえ教育効果を高める効果的・効率的な事務処理の推進
 - 短期・中期・長期的な展望に立った積極的な予算の要望や執行
 - 公文書や備品の適切な保管・管理と適正な会計処理の推進
- (7) 家庭・地域・関係機関等との連携
 - 学年・学級懇談会等を積極的に活用した保護者との信頼関係の構築
 - コミュニティ・エリア構想に基づく「地域とともにある学校づくり」及び学校間連携の推進
 - PTA活動の活性化と保護者や地域住民が来校しやすい環境づくりの推進

IV 各種評価結果分析と改善策

①については、前期と比較すると、教職員の肯定的評価は約10ポイントのびているものの、保護者は、約3ポイント下がっている。児童の実態の事実を正確に読み取り、身につけさせたい知識・技能を明確にして児童自身が何をしたらよいかわかる授業改善に努める。

②については、前期と比較すると、児童のA評価は約4ポイント上がり、保護者も約2ポイント上がっている。教職員は、約9ポイント下がっている。ICTの活用は増加したが、さらに効果的で質の高い活用ができるように研修を行っていく。

③については、前期と比較すると、保護者のA評価が約3ポイント下がっている。「安心・安全」な学校とするため、子ども一人一人に寄り添い自己肯定感や自己有用感を高める指導の充実をはかり、児童・保護者の信頼されるよう積極的に連携する。

④については、前期と比較すると、児童・保護者の肯定的評価は上がっているいるが、教職員は、10ポイント以上下がっている。よりよい集団づくりをするため、「ピア・サポートの理念」を学び直し、理解を深めながら実践する。

⑤については、教職員から積極的に「ありがとう」を伝えることで児童が当たり前に言葉にできるようになってきている。また、児童会活動での「あいさつ運動」により笑顔が増えたため、保護者の肯定的評価が上がった。今後は、児童がさらに積極的にさまざまな活動に取り入れられるように意図的・計画的に推進する。

⑥については、前期と比較すると、A評価が保護者は約2ポイント上がっている。今後とも、保護者と職員の連絡を密にするとともに、児童や保護者の皆様の気持ちにより添い、迅速かつ丁寧な連絡や相談に努めていく。

⑦については、後期はインフルエンザの流行による学校閉鎖もあり、縦割り活動や複数学年での活動が制限されたため、教職員の肯定的評価が下がっている。状況に合わせた活動の工夫ができるよう情報収集や実践をする。

⑧については、外部講師から学ぶ機会を増やしたため肯定的評価が上がっている。今後は、保護者も一緒に考えたり、取り組めたりできる活動を増やしてより安全・安心な学校づくり

をする。

V. 資料

- ・次頁以降に掲載

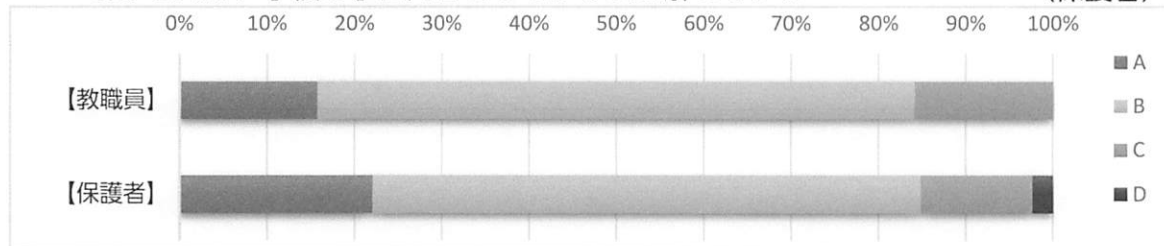
「@学校評価分析会議 資料（前期）」

「@学校評価分析会議 資料（後期）」

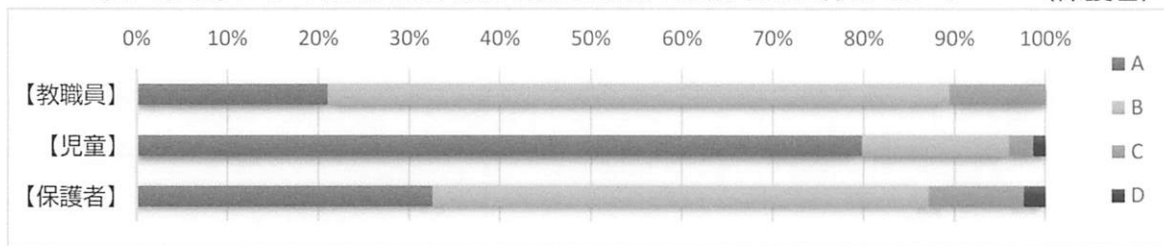
令和5年度 前期学校評価アンケート 結果報告書

令和5年8月22日 岩見沢市立岩見沢小学校

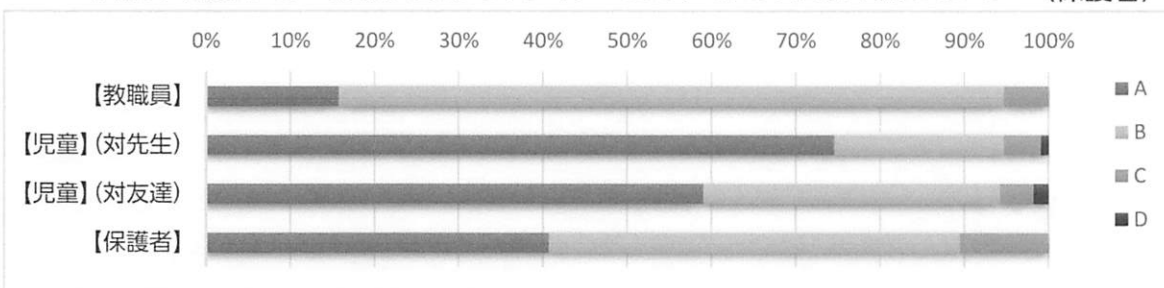
- ① 知識・技能の適切な目標設定を行っている (教職員)
お子さんは、学校の学習内容をしっかりと理解している (保護者)



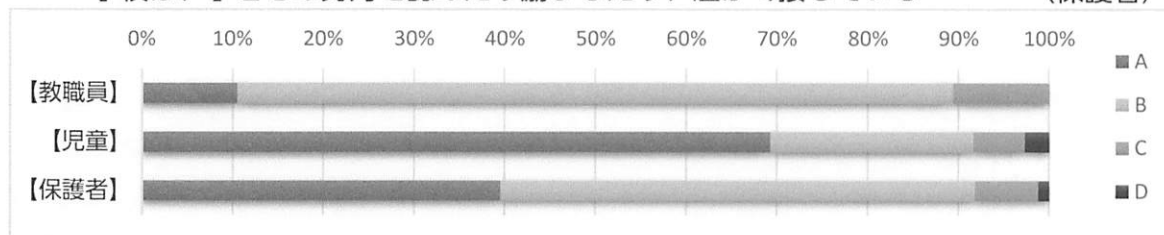
- ② 目的を明確にし、ICTを効果的に活用している (教職員)
授業で大型テレビ、iPadを使っていますか (児童)
お子さんは、学年相応のICT機器を使う知識や技能を身に付けている (保護者)



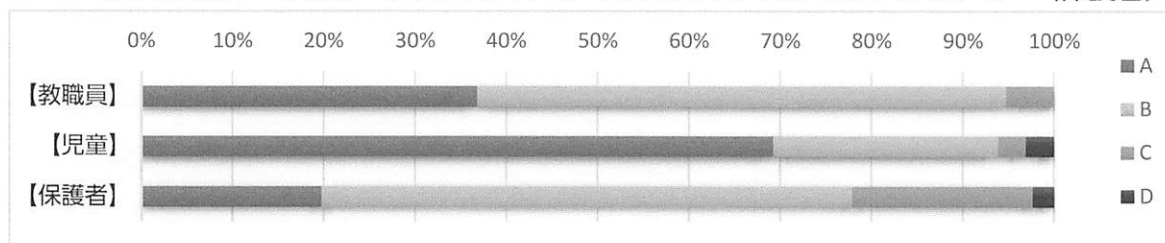
- ③ 児童との対話を意識し、児童の思いが生きる学級経営や教育活動を行っている (教職員)
先生は、よく話を聞いてくれますか (児童)
友達の話をよく聞いたり、自分の意見を伝えたりしていますか (児童)
学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすくなっており、それらに適切に対応している (保護者)



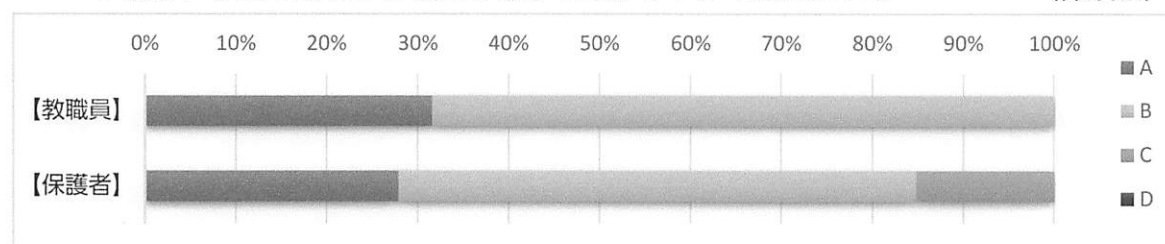
- ④ 相手を受け入れWinWinの関係を築く集団作りを意図して指導している (教職員)
困っている人がいたら助けて、友達と仲良く生活していますか (児童)
学校は、子どもの努力を認めたり励ましたり、温かく接している (保護者)



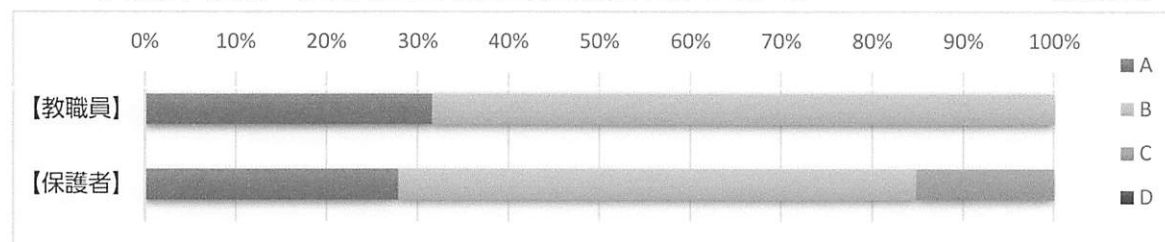
- ⑤ 「笑顔」で「ありがとう」と言い合える関係づくりを意図して指導している (教職員)
「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしていますか (児童)
お子さんは、「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしている (保護者)



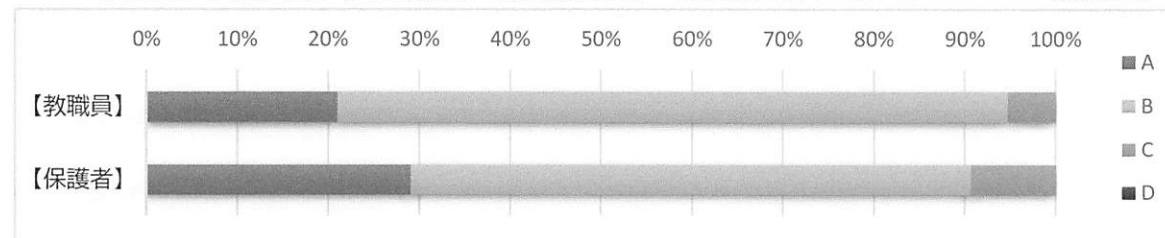
- ⑥ 通信・面談・電話等で、子どもたちの様子を積極的に伝えている (教職員)
学校は、子どもたちの学校での様子をわかりやすく伝えている (保護者)



- ⑦ 健康・体力向上に向けた学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)
学校は、健康・体力向上に向けた教育活動を行っている (保護者)



- ⑧ 安心・安全な学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)
学校は、安全対策（各種訓練、防犯教室等）を適切に行っている (保護者)



学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。また、学校改善のアイデアとして10名の方から記述をいただきました。アンケートの結果を生かし今後も学校改善を進めてまいります。

学校評価アンケート（回答）

【生活について】

- ・学校では、決まった時間に解錠・施錠を行っています。さらに安心して来校できるよう、改めて確認・見直しをしていきます。
- ・自然災害等の対応については、素早い情報提供・共有できるような方法を検討していきます。
- ・児童の気持ちに寄り添い、適切な言葉かけや思いの理解に努めます。

【行事について】

- ・児童のために保護者の皆さんにできる範囲で協力できるようお願いします。負担が大きくなる方など PTA 役員を中心にしながら皆さんが楽しく取り組めるようにしていきます。

【連絡方法について】

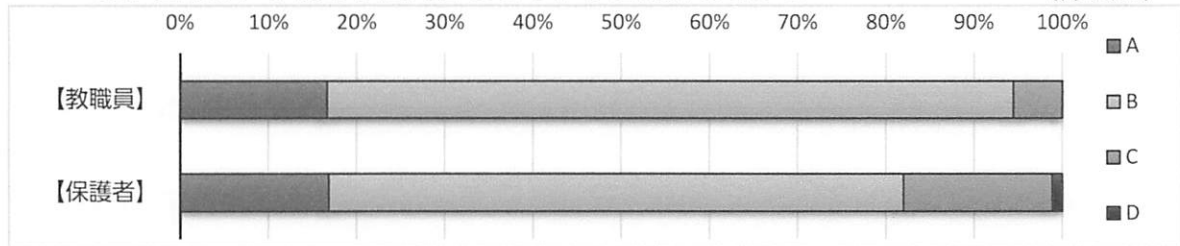
- ・一斉同報メールに加え、家庭との連絡がスムーズに素早くできるようなアプリの導入など検討していきます。

令和5年度 後期学校評価アンケート 結果報告書

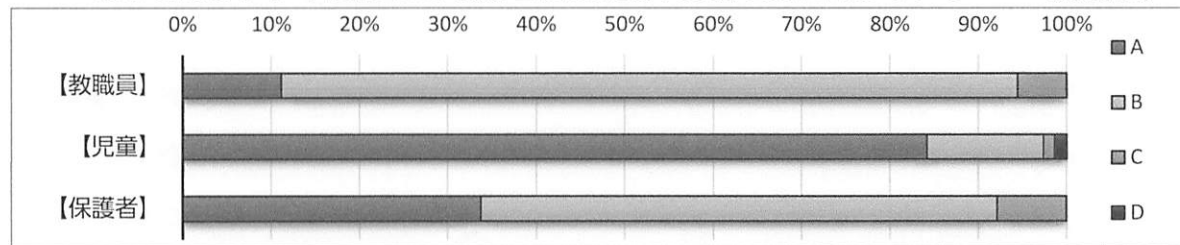
令和6年1月24日 岩見沢市立岩見沢小学校

〈 A-十分 B-おおむね十分 C-やや不十分 D-不十分 〉

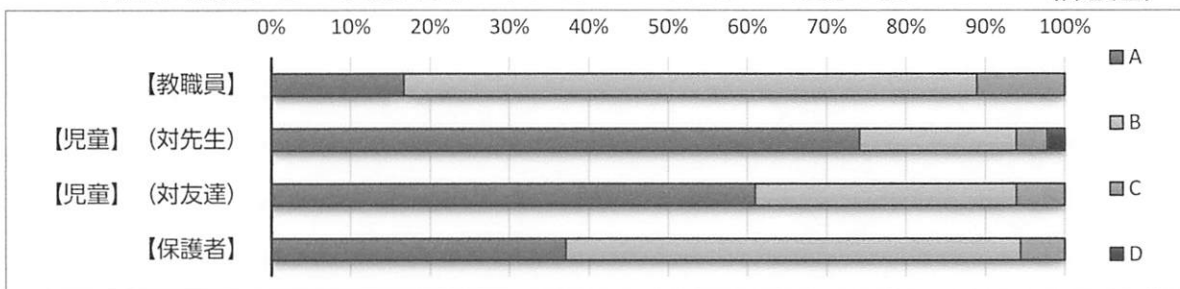
- ① 知識・技能の適切な目標設定を行っている (教職員)
お子さんは、学校の学習内容をしっかりと理解している (保護者)



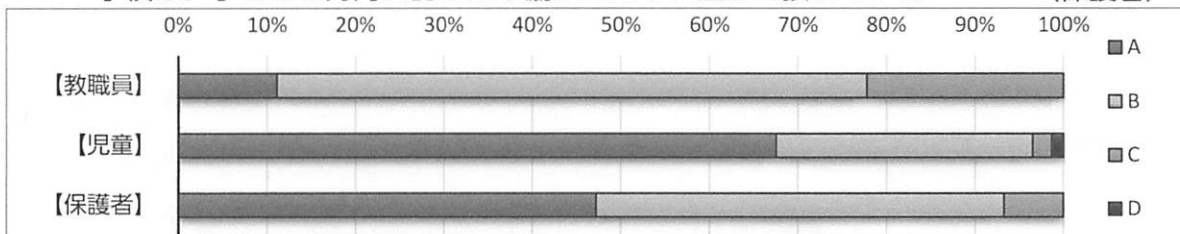
- ② 目的を明確にし、ICTを効果的に活用している (教職員)
授業で大型テレビ、iPadを使っていますか (児童)
お子さんは、学年相応のICT機器を使う知識や技能を身に付けている (保護者)



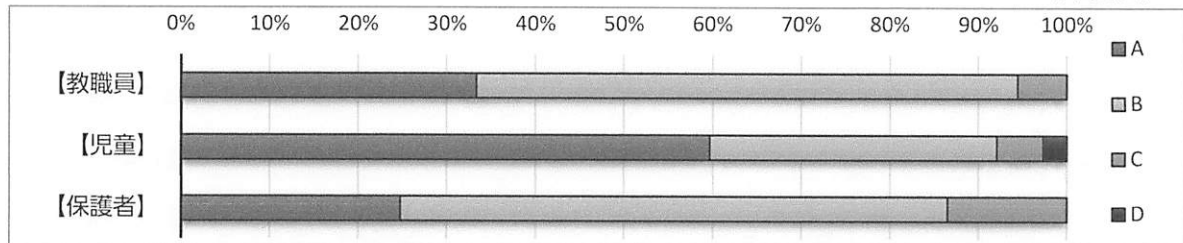
- ③ 児童との対話を意識し、児童の思いが生きる学級経営や教育活動を行っている (教職員)
先生は、よく話を聞いてくれますか (児童)
友達の話をよく聞いたり、自分の意見を伝えたりしていますか (児童)
学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすくなっており、それらに適切に対応している (保護者)



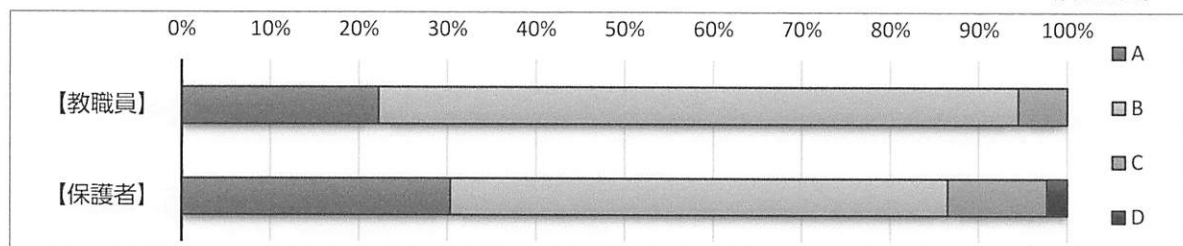
- ④ 相手を受け入れWinWinの関係を築く集団作りを意図して指導している (教職員)
困っている人がいたら助けて、友達と仲良く生活していますか (児童)
学校は、子どもの努力を認めたり励ましたり、温かく接している (保護者)



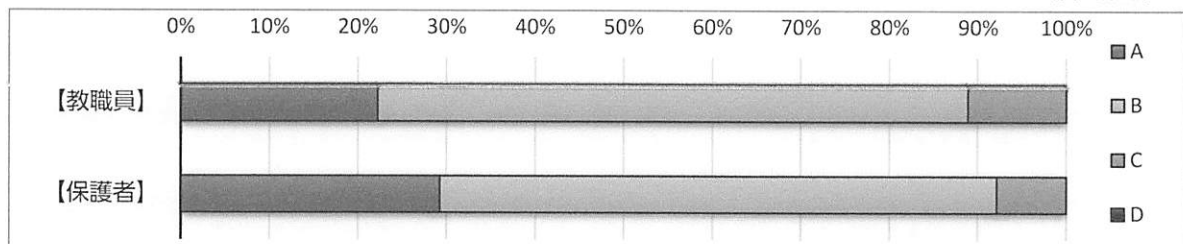
- ⑤ 「笑顔」で「ありがとう」と言い合える関係づくりを意図して指導している (教職員)
「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしていますか (児童)
お子さんは、「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしている (保護者)



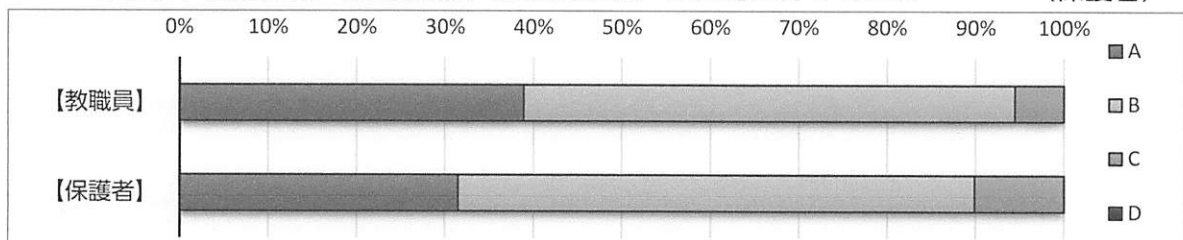
- ⑥ 通信・面談・電話等で、子どもたちの様子を積極的に伝えている (教職員)
学校は、子どもたちの学校での様子をわかりやすく伝えている (保護者)



- ⑦ 健康・体力向上に向けた学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)
学校は、健康・体力向上に向けた教育活動を行っている (保護者)



- ⑧ 安心・安全な学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)
学校は、安全対策（各種訓練、防犯教室等）を適切に行っている (保護者)



学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。また、学校改善のアイデアとして13名の方から記述をいただきました。アンケートの結果を生かし今後も学校改善を進めてまいります。

学校評価アンケート記述内容（回答）

【学習について】

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、AIドリル（キュービナやジャストスマイル）を活用し、個別最適な学びや協働的な学び充実。
- ・ICTを活用した個に応じた指導の推進による確かな学力の形成。

【生活について】

- ・登下校は、児童の安全・安心を第一に考え、状況に合わせた集団での対応や保護者の送迎。

【連絡方法について】

- ・一斉同報メールに加え、出欠確認については「tetoru」を導入し、2月から試行し、4月から本格実施。個別のニーズに応じて電話対応。

【その他】

- ・水泳学習については、岩見沢温水プール、栗沢 B&G 海洋センタープール、北村プールに市内の小学校14校を割り当て実施。実施時期については、各校と検討。
- ・「鼓笛」については、児童の減少を踏まえ、持続可能な形を検討。
- ・17時以降の連絡については、学校代表メールを活用して対応。
- ・「なんでも伝えて！聞く聞くポスト」を学校に設置し、児童や保護者が相談できる環境作り。